

葉っぱの朝露が、

大気の中に見えない水があることを教えてくれる。

乾ききった砂漠にも、オアシスが地下水の存在を示してくれる。

川だけに水は流れるのではない。

地下にも豊かな水脈をつくる。

その土で浄化された水を取り出して、

地上の水と比べるがいい。

手ですくって口に含むように、

自閉症の東田直樹さんの

奥深くから湧き出る言葉を聞いた。

—雑誌『コトノネ』の里見です。よろしくお願ひします。

よろしくお願ひします。おわり。

【直樹さんは、文字盤ポイントインゲンしながら、それを読み上げるように話す。話し終えれば、必ず「おわり」と言う。】

—直樹さんの本を読ませてもらって、お話を伺いたいと、ずっと思っていました。

うれしいです。

うれしい出会いは、つかの間の休息に、似ています。おわり。

—イギリス人作家デイヴィッド・ミッチェルさんによって、直樹さんの本『自閉症の僕が跳びはねる理由』(※1)が翻訳されました。その『The Reason I Jump』(※2)は、世界中で出版され、ベストセラーになりました。この本で、自閉症の子どもの気持ちがあった、という人がたくさんいると聞きました。

ぼくの本を読んでくださった方から、気持ちが変わったという感想をいただくことがあります。けれども、ぼく自身はそんなふうには思いません。ぼくの方が読者に、救っていただいたと思っています。おわり。

【直樹さん、ちょっとうるさくして、部屋を出る。お母さんの美紀さんは「急に気持ちが高ぶったみたいですよ」と説明してくれた。一五分以上時間が経って戻ってくれた。】

地下水が聞こえる

ぶっちゃけインタビュー 11

東田直樹 あづま なおき

作家・詩人

里見喜久夫 (「コトノネ」編集部) = インタビュー
interview by Kikuo Satomi
山本尚明 = 写真
photograph by Naoaki Yamamoto